

福島市脱炭素社会 実現実行計画

～チャレンジ2050ゼロカーボンふくしま市～

第1期（2021-2030年度）計画

2021年（令和3年）2月 策定

2023年（令和5年）8月 改定

福島市

はじめに



近年、国内外で豪雨や猛暑など深刻な気象災害が多発しており、気候変動問題は、人類や全ての生き物にとって避けることのできない喫緊の課題であり、生存基盤を揺るがす「気候危機」とも言われています。

2015年の「パリ協定」においては、「今世紀末までの世界の平均気温上昇を2℃より低く保つとともに、1.5℃未満に抑える努力をすること」という世界共通の長期目標が掲げられました。このような中、本市では、2021年2月に「福島市脱炭素社会実現実行計画」を策定するとともに、あわせて「福島市ゼロカーボンシティ宣言」を行い、2050年度までに本市からの温室効果ガス排出量を実質ゼロにすべく取組を進めてきました。

しかしながら、気象異常はさらに激化し、取組のさらなる加速化が必要な状況になってきています。このため、本市では、2030年度に向けた温室効果ガス排出削減目標について、これまでの「30%以上」から野心的な目標「55%削減」へと引き上げます。そしてこれを実現するため、追加対策を講じ、家庭部門や運輸部門など各部門における削減目標や取組内容を示して排出量削減を率先して進めてまいります。

計画の推進にあたりましては、本市が目指す「チャレンジ 2050 ゼロカーボンふくしま市」の将来像に向けて、再生可能エネルギーの導入拡大や省エネルギー・省資源に向けたライフ・ワークスタイルシフトなど4つの基本方針のもと、市民・事業者・市などすべての主体が連携・協力して取組み、地域の再生や活性化などを伴う魅力あふれるまちが実現できるよう施策を進めてまいります。また、本市の豊かな自然環境を将来世代に引き継ぐためにも、地球規模の課題に積極的に取り組み、持続可能な未来を創出してまいります。

最後に、本計画の改定にあたり、多大なご尽力を賜りました福島市環境審議会の皆様をはじめ、関係者に対し感謝申し上げますとともに、市民の皆様におかれましては一層の取組をお願いし巻頭のあいさつとします。

令和5年 8月

福島市長 木幡 浩

福島市 ゼロカーボンシティ宣言

～「チャレンジ2050 ゼロカーボンふくしま市」を目指して～

異常気象による大規模な災害が多発するなど、地球温暖化に伴う弊害が顕在化しています。「脱炭素社会」を実現し、地球温暖化を防止することは、全世界的な課題であると同時に、私たち地域の将来にも大きく影響する課題です。

福島市は、ここに2050年度に温室効果ガス排出量実質ゼロを目指し、「ゼロカーボンシティ宣言」を行います。

この目標を市民・事業者とともに共有し、各主体が将来に対する責任を自覚しながら、次の4つの基本方針に沿った取組を推進し、持続可能な未来を創出してまいります。

【目標達成に向けた4つの基本方針】

(福島市脱炭素社会実現実行計画 2021年(令和3年)2月決定)

- 基本方針1 再生可能エネルギーの導入拡大と効果的な活用
- 基本方針2 省エネルギー・省資源に向けたライフ・ワークスタイルシフト
- 基本方針3 温室効果ガス吸収源の確保に向けた取組の推進
- 基本方針4 気候変動を見据えた対策の推進

2021年(令和3年)2月25日

福島市長 木幡 浩

目次

第1章 計画の基本的事項	1
第1節 計画の背景	1
1) 地球温暖化と気温の上昇	1
2) 気候変動による影響	2
3) 地球温暖化対策を巡る国際的な動向	2
4) 地球温暖化対策を巡る国内の動向	3
第2節 計画の目的	4
第3節 計画の位置付け	4
第4節 計画の対象	5
1) 対象地域	5
2) 対象物質	5
3) 対象範囲	5
4) 対象発生源	5
第5節 基準年度、目標年度	6
第6節 計画の期間	6
第2章 福島市の地域特性	7
第1節 自然的特性	7
1) 位置・地勢	7
2) 気候・気象	8
3) 土地利用	10
第2節 社会的特性	11
1) 人口・世帯数	11
2) 産業・経済	12
3) 交通	13
4) エネルギー利用の状況	16
5) 一般廃棄物	19
第3節 福島市の再生可能エネルギー	22
1) 再生可能エネルギー	22
2) 本市の再生可能エネルギーの現状	23
3) 再生可能エネルギーの導入ポテンシャル	24
第4節 市民・事業者の地球温暖化に関する意識	26
1) 地球温暖化に関する意識及び取組状況等	26
2) アンケート調査で示された主な課題	30
第3章 温室効果ガスの状況	31
第1節 温室効果ガス排出量・吸収量	31
1) 温室効果ガス排出の状況	31
2) 部門別の温室効果ガス排出量	32
3) 主体別の温室効果ガス排出量	33
4) 燃料種別のCO ₂ 排出量	34
第4章 温室効果ガスの削減目標	35
第1節 福島市が目指す将来像	35
1) 目指す将来像と基本方針	35
2) 地球温暖化対策に伴うコベネフィット	36
第2節 将来予測	37
1) 現状趨勢ケースによる推計（BAU推計）	37

第3節 削減目標.....	38
1) 削減目標	38
2) 2030年度55%削減に向けた取組	38
3) ゼロカーボン実現に向けて	42
第5章 脱炭素社会実現に向けた取組.....	45
第1節 基本方針.....	45
第2節 施策の体系.....	47
第3節 施策の展開.....	48
第6章 計画の推進	71
第1節 計画の推進体制	71
1) ふくしま環境基本計画推進協議会	71
2) 国や県、関係機関などとの連携・協力体制の強化	71
3) 福島県地球温暖化防止活動推進センターとの連携	71
4) 気候変動適応広域協議会等への参加	71
5) 庁内の推進体制	71
第2節 計画の進行管理	73
1) P D C Aサイクルによる進行管理	73
2) 成果の公表	73

凡 例

- 1 文中及び表中に用いた数字は、原則として表示数値未満を四捨五入として表示しています。したがって、差し引き及び合計と内訳の計が一致しない場合があります。
- 2 比率は、表示数値未満を四捨五入して表示しています。